

2026 年 10 月 9 日

報道関係者各位



公益財団法人
日本モンキーセンター

【日本モンキーセンター】10 月 17 日(土)動物慰霊祭のお知らせ

～70 周年の創立記念日に感謝の気持ちを込めて動物慰霊祭を執りおこないます～

平素より当財団の事業につきまして格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

例年、10 月 17 日の創立記念日に、日本モンキーセンターで亡くなったすべての動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっています。70 回目の今年は、この1年間で亡くなった霊長類 16 種 35 頭をあわせ、歴代の合計 6,925 頭を供養します(2026 年 10 月 9 日現在)。亡くなった霊長類の中には、当園で最後の 2 頭となったコモンマーモセットの「ベビ」と「ニック」や、難病と闘い続けたアヌビスヒヒの「ナイツ」、長年アフリカセンターを支えたチンパンジーの「アキラ」もおります。

この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、日本モンキーセンターの職員全員が参列し、来園者のみなさまも、果物や野菜、栗やどんぐり、樹木の苗木などの「お供えもの(献果)」を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えもの(リンゴ、ミカンなどの果物類、サツマイモ、葉物野菜など)の受け付けは、10 月 10 日(土)から開始し、慰霊祭の当日の 10 月 17 日(土) 12 時 30 分までおこないます。※宅配でも受け付けます。

多くの方に慰霊祭を知っていただきたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

1. 創立 70 周年・動物慰霊祭 概要

- 日時: 2026 年 10 月 17 日(土)13 時 00 分～(雨天決行)
- 場所: 日本モンキーセンター ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑(猿塚)前
- 進行: 綿貫 宏史朗(日本モンキーセンター 学術部企画広報課 課長)
- プログラム:
 - 開祭あいさつ 湯本 貴和(日本モンキーセンター 所長)
 - 来賓あいさつ 原 欣伸 犬山市長
 - ボイスメッセージ 竹下 景子(女優、日本モンキーセンター 親善大使)
 - 飼育部報告 下村 実(日本モンキーセンター 動物園長/飼育部長)
 - 動物たちへの感謝のことば 飼育員 5 名
 - 廣澤麻里(ひろさわ まり) アフリカセンター 担当
 - 阿野隆平(あの りゅうへい) 南米館・マダガスカル 担当
 - 浮瀬百々香(うきせ ももか) アジア館・アフリカ館 担当
 - 川原宇翔(かわはら たかと) ヒヒの城・ニホンザルの丘 担当
 - 武田直子(たけだ なおこ) 新アフリカ館 原野と森の家 担当
- 献花・献果
- 13 時 45 分頃 終了

2. 資料:この1年に亡くなった代表的な飼育動物

■フランソワルトン ヨウ(オス) 2026年1月9日死亡「アジア館」で飼育



ヨウは2024年8月13日に当園で生まれました。母親が子育てをせず育子放棄したため、飼育員の手で哺育することとなりました。フランソワルトンの人工哺育は難しく国内で成功例がありません。試行錯誤しつつも、1日でも長く生存させることを目標に哺育に取り組みました。本種の人工哺育で生後半年以上生存させることができた初めての記録となり、当園が加盟する(公社)日本動物園水族館協会から2025年度の「初繁殖認定(人工育成)」を授与されましたが、残念ながら2026年の年始に死亡しました。1歳5カ月の短い命でしたが、さまざまな知見や反省を得ることができました。

■マンドリル キンシャサ(オス)

2026年1月25日死亡

「新アフリカ館 原野と森の家」で飼育



■チンパンジー アキラ(オス)

2026年8月19日死亡

「アフリカセンター」で飼育



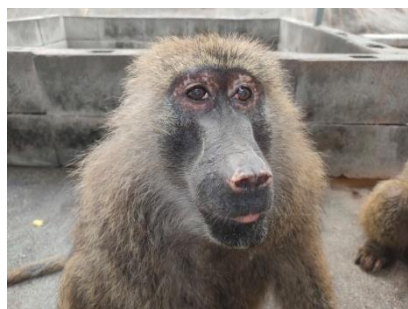
■ヒゲサキ レグルス(オス)

2026年2月17日死亡「南米館」で飼育



■アヌビスヒビ ゾヘ(メス)

2026年4月11日死亡「ヒビの城」で飼育



本件に関するお問い合わせ先

主催団体	公益財団法人日本モンキーセンター
所在地	〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL/FAX	0568-61-2327 / 0568-62-6823
E-mail	info@j-monkey.jp
問い合わせ先	坂口、綿貫、江藤、辻内